

公告 日本食品科学工学会 第66回大会におけるシンポジウム共催

日本酪農科学会は、2019年8月29日（木）から31日（土）に、藤女子大学北16条キャンパス（〒001-0016 北海道札幌市北区北16条西2丁目）で開催される日本食品科学工学会第66回大会にて下記のシンポジウムを共催いたします。

シンポジウム開催日につきましては、日本食品科学工学会第66回大会ホームページ (<https://www.jsfst.or.jp/nenzi/66taikai.html>) にて案内があります。

記

・テーマ：乳酸菌、腸内細菌およびミルクオリゴ糖の健康機能科学

【概要】免疫調整や病原性微生物の感染防御など、乳業用乳酸菌やプロバイオティクス細菌のもつ機能性が非常に注目されている。このシンポジウムでは、乳酸菌の生産する菌体外多糖による機能、プロバイオティクス細菌の腸内定着機構と腸管免疫に及ぼす機能など、最先端の研究動向を紹介する。また、ビフィズス菌の腸内増殖促進作用など母乳オリゴ糖の機能が注目を浴びている。それを育児用調整粉乳など食品に添加・利用するには調製技術等のハードルがあったが、開発が急ピッチで進められるようになった。その開発の現状と課題も併せて紹介する。

・世話人：浦島 匡（本学会会長）

・予定講演者と講演タイトル

- 1) 福田健二（帯広畜産大学）
講演タイトル：乳業用乳酸菌の生産する多糖の機能
- 2) 西山啓太（北里大学薬学部）
講演タイトル：腸内細菌の消化管ムチンとの相互作用を介した定着機構
- 3) 下里剛士（信州大学農学部）
講演タイトル：イムノバイオティクス由来核酸成分を用いた経口用微粒子の創製と機能性食品・飼料素材への展開
- 4) 小泉聡司（協和発酵バイオ）
講演タイトル（仮題）：母乳オリゴ糖の発酵生産と開発（仮題）

以上